

自己探求の旅へ!3年生が「自己表現」(JIKOTAN)を受けました

6月9日(火)の5・6校時、体育館にて3年生を対象とした「JIKOTAN～ようこそ、自己探求の旅へ～」が実施しました。これは、高校入試の「自己表現」を見据え、中学校での取り組みや自身の長所、将来の夢などを、資料を活用しながらプレゼンテーションする力を養う取り組みです。本校では、15歳という人生の節目を迎える生徒たちが、広島県教育委員会の求める「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を育む大切な機会として位置づけ、実践を進めています。

授業の冒頭では、これから始まる未知の「旅」を前に、少し緊張した面持ちで様子を伺っていた生徒たちでした。しかし、ワークが進むにつれてどんどん内容に引き込まれ、会場は一気に熱を帯びていきました。



今回は、①自分の興味・関心のある分野を探す、②自分が大事にしたい価値観を理解する、③自分の強みを知る、という3つのステップに挑戦。自分を知り、決定し、そして「お互いに伝え合う」という活動を通して、体育館のあちこちで仲間の言葉に弾けるような笑顔が見られるようになり、自らを表現することの楽しさを体感している様子でした。



受講後の生徒たちの振り返りからは、今回の自己探求が大きな自信や次への意欲に繋がったことが強く伝わってきました。入試対策という枠組みを超えて、「自分を知り、それを言葉にして伝える力」はこれから生きる子どもたちにとって大切な財産です。今回の気づきを大切にしながら、それぞれの目標や夢の実現に向けて、さらに表現力を磨いていってほしいと願っています。



受講した3年生の感想(抜粋)



○「JIKOTANは、自己表現につながっていることがよく分かりました。

まずは、自分なりに(自分の考えを)まとめることができたのでよかったです。」

○「自分のことをじっくり考えることができたので、うれしかったです。得意なことを見つめ直せたので、これからの生活に活かして頑張りたいです。」